

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。



2人でも抱えられないぞ～

子どもたちの手では抱えきれない木々もいっぱい。見るだけでなく、直接触って体感するのも探検の醍醐味ですね。



いっぱい見つけるぞ～

カードに書いてあるものを森の中で五感をフル活用して探しました。いくつ見つけれられたかな？



木の肌の模様って不思議

木の幹に紙を当てて、クレヨンでこすって木の肌の凸凹を写し取ると、不思議な模様が浮かび上がりました。

>>人事異動のお知らせ<<

転 入 (4月1日付)
遠別森林事務所 首席森林官
東遠別森林事務所 森林官事務取扱
(留萌南部署 西幌糠森林官)
安達 登

転 出 (4月1日付)
北海道森林管理局 企画調整部
保全調整課 指導広報係長
(遠別森林事務所 首席森林官)
中鍵 貴之

定年退職 (3月31日付)
(東遠別森林事務所 森林官)
松並 善司
※ () は旧官職名



冬の富士見ヶ丘公園を探検して色々な発見がありました

4年生のみんなとスノーシュー・トレッキング

快晴に恵まれた三月十三日、遠別小学校四年生の皆さんと、富士見ヶ丘公園で「冬の森林教室」を開催しました。これは理科「冬の森」の単元の一環として行われたもので、中鍵首席森林官と松並森林官がまだ雪深い森の中を案内しました。

今回は「冬の森」をより楽しんでもらおうと「スノーシュー」(西洋かんじき)を用意し、「フィールドビンゴ」(カードに書いてあるものを森の中で探すゲーム)、「森のフロッター」(木の幹などの凸凹を紙に写し取って、質感や模様の違いなどを体感する遊び)、「輪尺」での「測樹」などを行いました。

初めて「スノーシュー」を履いた皆さんは、雪の上を沈まずに歩けることに「すごい！」と大喜び。見通しが良い冬の森の中を、積雪の分だけ高くなった目線で探検し、「沢山の発見をして、すくなく楽しかった！」と、とても賑やかな一日になりました。

昨年十二月から遠別町北浜九一(旧遠別森林事務所跡地)で新築工事を進めていました「遠別合同森林事務所」がこのほど完成しました。

新庁舎は合法伐採が証明された木材「フェアウッド」を使った木造平屋建て、床面積約六十六平方メートル、構造材や「木質内装」の室内には北海道産の木材が使われ、木の香りあふれる建物です。

四月上旬に遠別・西遠別・東遠別の三森林事務所が新庁舎へ移転集約化され、業務を開始します。

お気軽にお立ち寄りください。

新庁舎が完成しました

～遠別合同森林事務所～



大切な森林を山火事から守りましょう！

春は空気が乾燥し、山火事の危険が高まる季節です。山火事のほとんどは人為的な要因によって起きています。しかし、これは私達一人ひとりが火の取扱いに注意することで、山火事を未然に防止できるということでもあります。かけがえのない森林を守るため、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

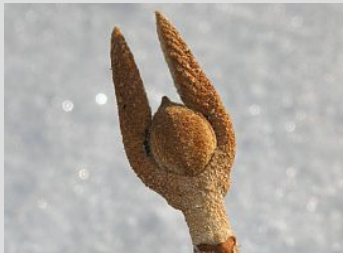
北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

森で見つけた 小さな宝物

フォレスター通信

今月は森林調査で山を歩いて見つけた「小さな宝物」を紹介したいと思います。



オオカメノキの冬芽

まずは、すごく小さいけど、ひときわ目を引いたのがこれ。まるで小人さんが万歳しているような姿ですね。



ツルアジサイのさく果と装飾花

天然「モビール」としてこのまま飾り物になりそうな冬のツルアジサイ。



トドマツの球果

普段何気なく見ている松ぼっくりも、ルーペで拡大してみるとこんなにアーティスティックで驚きました。

「ちょっとした発見」を大切にすることも、国有林の自然を守っていくことへの一歩じゃないかなと思います ☺

旭のトドマツもっと大きくな～れ！

山々をわたる風が少しずつ温かくなり、近づく春を感じられる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。さて、森林事務所で先月に引き続き、旭温泉奥の国有林に入り「間伐調査」を実行中です。同地区には昭和40年代にトドマツが植林された山が、その後約40年を経て成長した木々は混み合っており、このままではお互いが競り合



調査現場へ向け、雪原を走るスノーモビル

高さ、分布状況などを調べ、この森の将来像を見据えた上で、間引きする本数割合などを算出します。また、伐採区域などの標示や、伐採木を運び出す「集材路」、それらを貯めておく「土場」などの設計、調査も行います。雪深い山中で、地形、天候、雪質などに一喜一憂させられるクロスカントリーな毎日ですが、日々違った表情を



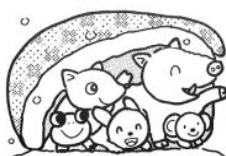
ソノメルスキーで森の中へ



輪尺で幹の太さを測定

見せてくれる山の自然と向き合い、ときには木々を見上げ、詩人？になるひとときもあつたり、キツイながらも楽しみもある仕事です。これらが立派な森に育つためには、まだ数十年の歳月が必要ですが、そのころ私達はいったい何歳でしょうか。トドマツの太木が生い茂る深い森となる日をみなさんも一緒に夢見てみませんか？

「木づかい」は誰にでもできるエコ活動 ～ みんなで止めよう地球温暖化！



日本では国産の木材があまり使われていません。このため、手入れが行き届かない人工林が増えています。植える、育てる、収穫する、上手に使うというリサイクルが、二酸化炭素をたっぷり吸収する元気な森をつくります。「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。木を使うことから全てが始まります。

みんなで止めよう地球温暖化！ www.rinya.maff.go.jp/kizukai.html

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

清川第三で 間伐作業



フォレスター通信

清川第三のヒシュクナイ川上流の国有林では現在、間伐作業が実行中です。

この地域は昭和三〇年代後半にトドマツが植林され、成長も良好。間伐によってこの森を適切な密度に管理し、さらなる成長を促します。

また、伐採木は間伐材として有効に活用されます。



チェーンソーで一本ずつ伐倒します



トラクターによる集材作業



集めた木は規格長に玉切り



積み上げられ、製材工場へ

毎日がバックカントリーな冬山仕事

冬のレジャーとして「バックカントリー」（整備されたスキー場ではなく、自分の足で山に登り、一切、手の加わっていない雪面を滑降すること）がちょっとしたブームのようですが、この季節の森林官の仕事は、そんな言葉が生まれるくらいと前から「バックカントリー」。もちろん雪山の登り降りには目的ではなく、仕事の手段ですが。さて、前置きが長くなりまして、現在の国有林で旭



さあ、今日はあそこまで登って調査だ！

旭地区の造林地は、昭和四〇年代にトドマツが植栽されたもので、その後約四十年を経て成長し、林内が混み合ってきました。このままではモヤシのような森になってしまふので、これらの密度等を調査し、そこから算出された量の木々を間伐し、さらなる成長を促します。このような中で、どの木を伐り、どの木を

残すかは、この森林の将来を左右する重要な判断であり、森林官はいろいろな研修などの場を通じて、技術の向上に努めています。森林官が調査・設計を行った間伐作業が、その森林をどのように遷移させていくのか、皆さんも一緒に長い目で見ていただければ幸いです。



森林全体をよく調査し、間伐木を選びます



伐るか残すか真剣勝負 旭地区で間伐調査

は間伐（造林木の間引き）をするための調査を進める毎日です。スノーモビルで凍てつく空気の中を疾走し、そこから先は冬山仕事専用の「ソノメルスキー」を履き、文字通りバックカントリー。直線距離はそ

れほどではなくとも、雪山登りは安全なルートを選びながら切り返しと迂回の連続、頭から湯気を立ち上らせて調査地に到達すると、体が冷えないうちに調査用具を取り出して早速作業開始です。

北海道森林管理局長賞を受賞 ～ 北の国・森林づくり技術交流発表会

1月24日に札幌市で開かれた「北の国・森林づくり技術交流発表会」において、当事務所のミニコミ活動「遠別の森から」が「北海道森林管理局長賞」を受賞しました。

国有林の仕事を皆さんにお伝えしようと発行を開始し間もなく2年。お陰様で街に出ると「森林を育てる色々な仕事をしているんだね」と声をかけていただけるようになってきました。今回の受賞を糧に今後も創意工夫し、毎号、目を通していただけたら幸いです。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

フォレスター通信 ～冬山仕事～

真っ白な雪で山がすっぽり埋まるこの季節、「森林官は冬の間はどんな仕事をしているのですか?」とよく聞かれます。寒いからって冬眠しているわけではありませんよ～。
ということで、今月は森林官の冬山仕事を紹介しますね。



冬山仕事のメインは「森林調査」。夏には歩けない笹やブヤ沢などが深い雪に埋もれて歩きやすくなり、木々も落葉し、林内の見通しも良くなることから、この季節は調査には最適なのです。



雪に埋もれた林道をスノーモビルで走り、終点からはゾンメルスキーやスノーシュー(西洋かんじき)を履き、地形図を頼りに目的地へ。



到達すると早速作業開始。造林予定地の測量や人工林の生育状況、間伐の選木等の調査をこなします。



今日もどこかの山奥深くで、森林官はより良い森林づくりを目指して頑張っていますよ～v

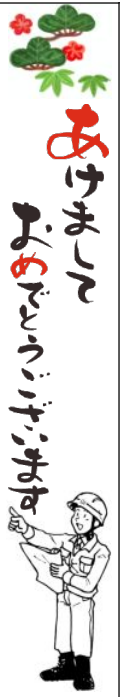
新築工事始まる～遠別合同森林事務所

新年あけましておめでとうございます。さて、すでにご存じの方かもしれませんが、町内北浜(緑町)では「遠別合同森林事務所」の庁舎新築工事が進行中です。
同所には遠別森林事務所がありましたが、築四〇年を経過したことから、この度の建て替えとなりました。
これに伴い、同じく老朽化していた西遠別及び東遠別の森林事務所を「合同」森林事務所へ集約し、完成後はこちらの庁舎

で業務を行います。
新庁舎は木造平屋建て、床面積は約六十六平方メートル、室内は北海道産の木材を活用した「木質内装」となります。
完成は三月中旬の予定で、現在は基礎工事を行っています。
なお、工事の間、遠別森林事務所は、東遠別森林事務所内で業務を行っています。



こんなのだったらいいのになぁ



森林にもっと光を入れよう! 「清川第三で「受光伐」実施中」

ひっそり静まりかえった森の奥から聞こえてくるチェンソーの音。
現在、清川第三地区にある比志久内沢の国有林では伐採系森林整備事業として「受光伐」を行っています。
「木を伐って森林整備?」という不思議な気がするかもしれませんが、これは、隣り合う林木の枝・葉が混み合い、すき間がない「うつ閉」した森林の一部を伐採し、日光が当たる場所を作り、稚樹の芽生えを促し、森林を樹齢・樹高の異なる樹木で構成される「複層林」へ導くことを目的にした間伐作業です。



陽光を入れるため選木した木を間伐します

「複層化」されることにより木の種類も多様となり、自然災害などにも強い、より天然度の高い森林へと生まれ変わります。
また、間伐された木々は木材として利用します。
陽光が降り注ぐようになつた森林が今後どのように移り変わっていくのか、見守って行きたいですね。



>>> 国有林内での狩猟を希望される皆様へ

国有林には、可猟期間であっても、間伐作業や各種工事、調査業務などのために多くの方が入林しています。このため、安全を確保し、狩猟に伴う事故を未然に防止するために、狩猟入林の規制を行っております。安全な狩猟となりますよう規制内容の遵守をお願いします。詳しくは森林管理署へお問い合わせください。